

■目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策24 子ども・青少年の育成支援の充実

現状と課題

- 次代を担う子ども・青少年が、視野を広げ、夢に向かって健やかに成長するためには、多様な体験・交流の機会を充実するとともに、それらに参加しやすい仕組みづくりが必要です。
- 女性の就業率の高まりを背景にした就学前の保育需要と同様に、年々増加している学童クラブの需要に的確に対応するとともに、より安全・安心な育成環境の整備が必要です。
- 子ども・青少年が、より幅広い支援を受けられたり、仲間づくりを進めることができるよう、放課後等の居場所の整備・充実が求められています。

計画最終年度(33年度)の目標

- 子ども・青少年が、自主性・社会性などを身に付け、夢を描きながら健やかに成長するための支援の仕組みづくりが進んでいます。
- 学童クラブや放課後等の居場所の整備が推進され、地域の人や団体の支援を受けながら児童の健全育成環境の充実が図られ、安心して働きながら子育てができる環境が整っています。

施策指標の推移(実績)と目標

指標名	これまでの実績			目標値 ※1 H29	目標値 ※2 H33	指標の説明・計算式
	H24	H25	H26(目標) ※3			
将来の夢・目標が定まっている子ども(高校生)の割合	62.0%	58.9%	70% ※3	72%	75%	「仕事と将来に関するアンケート」区内在学高校2年生への調査
学童クラブ待機児童数	70人 (25年4月)	49人 (26年4月)	0人	0人	0人	年度当初入会時の待機児童数

※1…『実行計画』最終年度の目標値 ※2…『総合計画』最終年度の目標値 ※3…24年度実績に基づき、26年度区政経営計画書で修正した目標値

目標を実現するための主な取組

○次世代育成基金の活用推進 **重点**

次世代育成基金を活用して、自然・文化・芸術・スポーツなどの様々な体験・交流事業への参加を支援します。また、基金趣旨の一層の周知と応援寄附募集の取組を推進するとともに、基金活用事業の拡充を図ります。

○学童クラブの整備 **重点**

小学校の余裕教室等を活用して、学童クラブを整備し、行き帰りの安全の確保を図り、より安全・安心な学童クラブとして充実させるとともに、校庭や体育館なども活用した学童クラブ運営による育成環境の充実も図ります。

○放課後等居場所事業の実施

放課後子ども教室の実績がある学校や、学童クラブが校内に設置された学校など小学校を対象に、地域団体との協働による運営も視野に、放課後等居場所事業を段階的に拡充して実施し、学童クラブ利用児童との交流機会を確保するなど、現在の児童館が果たしている小学生の居場所機能を継承し、充実・発展させる取組を進めます。

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策24 子ども・青少年の育成支援の充実

1 次世代育成基金の活用推進〈重点〉

すべての子どもたちが、夢を抱き健やかに育つように、自然・文化・芸術・スポーツなどの様々な体験・交流事業への参加を支援します。また、基金趣旨の一層の周知と応援寄附募集の取組を推進するとともに、基金活用事業の拡充を図ります。

26年度末(見込)		27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容	基金活用事業 参加者165人	基金を活用した体験・ 交流事業 拡充	基金を活用した体験・ 交流事業 拡充	基金を活用した体験・ 交流事業 拡充	基金を活用した体験・ 交流事業 拡充
	—	民間からの基金活用 事業の提案公募 試行・検証	民間からの基金活用 事業の提案公募 実施	民間からの基金活用 事業の提案公募 実施	民間からの基金活用 事業の提案公募 試行・検証 実施
経費(百万円)		0	0	0	0

2 学童クラブの整備〈重点〉

施設再編

小学校の余裕教室等を活用して、学童クラブを整備し、行き帰りの安全の確保を図り、より安全・安心な学童クラブとして充実させるとともに、校庭や体育館なども活用した学童クラブ運営による育成環境の充実も図ります。また、障害等がある子どもへの学童クラブにおける支援を充実させます。

26年度末(見込)		27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容	小学校内への学童 クラブの整備 学童クラブ50クラブ (うち校内10クラブ)	学校改築時整備 1クラブ 学童クラブ50クラブ (うち校内10クラブ)	移設(児童館→校内) 1クラブ 学童クラブ50クラブ (うち校内11クラブ)	移設(児童館→校内) 1クラブ 学童クラブ50クラブ (うち校内12クラブ)	移設等 3クラブ 学童クラブ50クラブ (うち校内12クラブ)
	経費(百万円)	98	34	21	153

3 放課後等居場所事業の実施

施設再編

放課後子ども教室の実績がある学校や、学童クラブが校内に設置された学校など小学校を対象に、地域団体との協働による運営も視野に、放課後等居場所事業を段階的に拡充して実施し、学童クラブ利用児童との交流機会を確保するなど、現在の児童館が果たしている小学生の居場所機能を継承し、充実・発展させる取組を進めます。

26年度末(見込)		27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容	小学生の放課後等 居場所事業の 小学校内での実施 検討	小学生の放課後等 居場所事業の 小学校内での実施 4所(モデル実施) (累計4所)	小学生の放課後等 居場所事業の 小学校内での実施 2所(モデル実施) (累計6所)	小学生の放課後等 居場所事業の 小学校内での実施 2所(モデル実施) (累計8所)	小学生の放課後等 居場所事業の 小学校内での実施 8所(モデル実施) (累計8所)
	経費(百万円)	0	0	0	0

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策24 子ども・青少年の育成支援の充実

4 中・高校生の新たな居場所づくりの推進

施設再編

中・高校生が気軽に集い交流し、仲間づくりをすることができる新たな居場所づくりを検討します。

26年度末(見込)		27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 検討
	経費(百万円)	0	0	0	0

5 (仮称)子どもプレーパーク事業の実施

区内公園を活用し、子どもたちが自分たちのアイデアや創造力を活かし、自由に遊びをつくり出すことができる事業を展開します。

26年度末(見込)		27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容	(仮称)子どもプレーパーク事業 検討・実施準備	(仮称)子どもプレーパーク事業 実施	(仮称)子どもプレーパーク事業 実施	(仮称)子どもプレーパーク事業 実施	(仮称)子どもプレーパーク事業 実施
	経費(百万円)	0	0	0	0